
絵本の広場

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 中央図書館と連携し、毎月1回幼児、小学生および保護者対象に絵本の読み聞かせを行い、本に親しむきっかけ作りをする。
- 期 間 平成28年4月～平成29年3月 第4木曜日 (計12回)
- 時 間 午後3時30分～4時※スペシャル年2回1時間 (計7時間)
- 対 象 市内在住又は在勤の幼児～小学生
- 参 加 者 81人 参加延べ人数 138人
- 講 師 読み聞かせグループ・十二の会
- 内 容

4月	たんぽぽ・のんびり王さまのわるものたいじ・とりかえっこ	10月	おしっこおしっこ・いもころがし・のせてのせて
5月	おまたせクッキー・999ひきのきょうだいのおひっこし・とりかえっこ	11月	こうくとちいさなゆきだるま・パンヤさんにおつかい・とってもいいひ
6月	あまのじゃくなかえる・おいしいとびらを とんとんとん・まほうのこつぶ	12月	しんせつなおともだち・まんまるまんまたんたかたん・おたのしみじどうはんばいき
7月	ちいさなヒッポ・うりこひめとあまんじゃく・ゴロゴロドーンかみなりさまおっこちた	2月	ねこのセーター・まるくんさんかくさんしかくちゃん・ともだちのいす
9月	あえるといいな・おうちでレストラン・あなのはなし	3月	ほらみてみて・まるまるころころ・おはぎぺたぺた
8月のスペシャル	絵本・紙芝居・パネルシアター・大型絵本・手遊び・へんしん紙皿・ウクレレにあわせてうたおう		
1月のスペシャル	絵本・紙芝居・パネルシアター・大型絵本・手遊び・手袋人形・おはなし・鬼のパンツ		

○ま と め

4年目に入ったこの講座もなかなか受講者が集まらない状況が続いている。対象が幼児から小学生と幅広いため、どちらも参加しにくい時間帯とも考えられる。夏休みや直前にビラを来館した親子に手渡すなどした月は比較的多くの来場者があった。一度来てくれた親子がリピーターとなるような工夫をしていきたい。来年度は、開催時間を第3土曜日の午前へ移動し、公民館まつりにも参加してもらおうなど、多くの人に来てもらえるよう工夫していきたい。



こども体験講座 ～ミュージカルダンスにチャレンジ～

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 ミュージカルダンスを体験することで自己表現の楽しさを学ぶ。

○期 間 平成28年7月28日(木)・29日(金)・30日(土)・31日(日)

(計4回) × 2クラス

○時 間 Aクラス 午前10時～11時30分

Bクラス 正午～午後1時30分 (計12時間)

回	月 日 (曜日)	内 容	講師
1	7月28日(木)	ウォームアップ・曲の練習	RAD(ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンス) 認定講師 福田 真紀子
2	7月29日(金)	ウォームアップ・曲の練習	
3	7月30日(土)	ウォームアップ・曲の練習	
4	7月31日(日)	ウォームアップ・曲の練習・発表	

○対象・定員 市内在住の小学生・各クラス20人

○参加者 35人 参加延べ人数258人

○講師・事業内容

○ま と め

ヨーロッパを中心に「オペラ座の怪人」「ノートルダムの鐘」「ライオンキング」など数多くの公演に出演し、現在、英国在住の講師が、帰国の際に子どもミュージカル体験講座を指導してくれる講座として定着している。

初心者クラスと経験者クラスのA・Bに分けてレッスンしたが、今年度は昨年の受講者が9名おり、どちらのクラスも活発に練習に取り組んだ。子ども同士で練習する姿も見られ、ひとりひとりの成長も見られた。最終日の発表会では、81名の保護者が見に来てくれて、力いっぱいのパフォーマンスを披露することができた。

講師から次年度はもう一つ上のクラスの設置を提案され、検討したい。



サマースクール

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 夏休み期間に、ボランティアや市内公共施設等とも協力しながら青少年の体験学習の機会を提供する。

○期 間 平成28年8月20日(土)・25日(木)・26日(金)
(計3回)

○時 間 午前10時～正午、25日は午前8時30分～午後4時(計11時間30分)

○対象・定員 市内在住の小学4年～6年生・30人

○参加者 29人 参加延べ人数83人

○講師 第1回：にいざ星空愛好会、第2～3回：環境教育支援ネットワークきづき 荻原 洋志、櫻 博子

○事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	8月20日(土)	プラネタリウム鑑賞(場所：新座市児童センター) ・今夜の星空案内、オリジナル星座を作る、地層と化石のはなし、「恐竜の記憶」上映
2	8月25日(木)	館外学習「おがの化石館」見学 (埼玉県秩父郡小鹿野町下小鹿野453)
3	8月26日(金)	骨格標本工作、閉会式

○ま と め

今回は「地層と化石の不思議を学ぼう」というテーマで実施した。第1回は、雨天ではあったが23人が参加し、プラネタリウムで星座を鑑賞するとともに、地層や化石、恐竜についても映像を見て学んだ。第2回以降は参加者が3班に分かれて行動したが、講師2名のほか、各班に配置された大学生がリードして学びを助けた。第2回はおがの化石館を見学し、近くの川原で「ようばけ(約1500万年前に堆積した地層)」の鑑賞や化石探しをした。第3回は、恐竜の骨格標本キットを組み立てて、木の実で装飾したりマーカーで色を塗り完成させた。最後に、各自恐竜の足の形のカードに感想を書き、まとめとした。



にいざ親子料理教室～おもてなし料理を作る～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 小学校3年生以上の親子を対象に、地元食材を使った料理を作る。
- 期 間 平成28年12月4日(日)
- 時 間 午前10時～正午 (2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15組
- 参加者 27人
- 参加費 1組1500円(材料代)
- 講師 ままごとキッチン前田純子(アシスタント1名)
- 事業内容 おもてなし料理を作る(ローストチキン・ロールケーキ・にんじんスープ)
- ま と め

昨年まで子ども対象だったが今年度は親子に変更したところ、「親子で料理ができる」という受講理由が多く講座設定はよかった。保護者の感想にも「子どもと1対1の時間を持てて良かった」「親子で楽しく料理ができ楽しかった」などが多かった。丸鶏の扱いを心配したが子どもたちは楽しそうに取り組み、きれいな焼き色のローストチキンができあがり、「むずかしそうな料理がかんたんにできて楽しかった」「家でも作ってみたい」という感想が聞かれた。保育に関して初めは1歳半のお子さんを含む8名の希望があったのでサポーターを3名依頼したが、家族が見てくれるなどの理由で当日キャンセルがあり4名となってしまった。また、直前のキャンセルが2組で材料費を集める講座の難しさがある。当館の実習室は充実しているので、今後も年に2回くらい「料理講座」ができるとよい。なお、献立は他の公民館と重ならないよう事前に打ち合わせをしっかりと行う必要がある。



歴史講座（吾妻鏡を読む）～源氏三代より～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 歴史書である吾妻鏡を読み、鎌倉時代の文化と歴史を学ぶ。
- 期 間 平成28年10月15日～11月5日（毎週土曜日）（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤・在学の成人・50人
- 参加者 46人 参加延べ人数131人
- 講師 日本文学者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	10 / 15	『吾妻鏡』と鎌倉時代
2	10 / 22	源頼家 失脚の虚実
3	10 / 29	源実朝 暗殺の謎
4	11 / 5	『吾妻鏡』と北条氏

○ま と め

全4回の講座であったが、参加率71.2%の
高い参加率であり、相変わらず棚木先生の人
気の高さがうかがえる。

講座では、「吾妻鏡」という、評価的には偏
った歴

史評価のある題材ではあったが、取り上げた部
分が源

氏三三代と比較的なじみのある、題材であった
ことか

ら興味を引くことが出来たのか、
参加者からは続編をという声も聞こえる。参加者は高齢者が多くみられた
が、中には若年層の参加者もあり、今後、若年層の参加者を多く取り込む
ことが必要と考える。



七夕ロビーコンサート

～めんそーれ沖縄～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の方々に、本物の芸術や文化を身近に感じ、見たり、聞いたりして今後の人生に活かしてもらおう。今回は、沖縄伝統の三味線や二胡の奏でる演奏と、独特な歌声を海なし県の埼玉県(新座市)で披露していただくことにより、沖縄音楽を学ぶもの。
- 期 間 平成28年7月2日(土)
- 時 間 午後1時30分～3時15分 (1.75時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・70人
- 参加者 83人
- 講師 三線・二胡／豊岡マッシー ボーカル／シーサー玉城
- 事業内容

月 日 (曜日)	内 容		
7月2日(土)	第一部(13:35～14:20) ・安里屋ユンタ ・ていんさぐぬ花 ・芭蕉布 ・島唄 ・花 ・七房指輪 ・マミドー	休憩 10分	第二部(14:30～15:15) ・ハイサイおじさん ・涙そうそう ・谷茶前 ・いち番どー ・童神 ・ちょんちょんキジムナ ー ・カチャーシー

○ま と め

定員を超える参加者があり、会場が一体となって盛り上がり、お帰りの際はみんな笑顔で満足した表情で帰路についた。

アンケート結果では、「良い」と[大変良い]を合わせると100%となり、ボーカルのマイクパフォーマンスは、精力的な歌唱力に加え沖縄踊りを交えた会場は圧倒された。また三線と二胡の奏者は、楽器の音色の素晴らしさと共に沖縄の人たちの優しさを表している。会話やメロディ、リズム等穏やかな雰囲気をお大切する風土が唄や曲に



表現され、沖縄音楽を身近に感じた。

家庭教育学級企画準備会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び教師と連携して開催する家庭教育学級講演会の企画準備会
- 期 間 平成28年6月8日～平成29年1月25日までの水曜日
(ただし、1月14日の講演会は土曜日) (計6回)
- 時 間 午前10時～正午 (計11時間)
- 対象・定員 第五中学校、八石小学校、栗原小学校、野寺小学校、片山小学校
の保護者・11人及び中央公民館職員
- 参加者 12人 参加延べ人数60人

回	月 日 (曜日)	内 容
1	6月 8日 (水)	今までの経過説明と本年度家庭教育学級について、講演テーマ・講師について
2	7月13日 (水)	講演テーマ・講師候補について ※8月10日の会議は講師が決定したため、中止した。
3	10月12日 (水)	役割分担、保護者への通知及び参加者名簿の作成について
4	12月14日 (水)	参加者・保育希望者人数の最終確認、当日のタイムスケジュールについて
5	1月14日 (土)	家庭教育講演会準備及び講演会
6	1月25日 (水)	反省会

○事業内容

○まとめ

家庭教育学級は、平成9年～16年まで実施した後中断し、平成22年度から5校と中央公民館共催で実施している(今回で7回目)。各校から選出された役員2名(栗原小のみ3名)と中央公民館職員で、小・中学生の保護者向けの講演会を企画した。今年度は、スマホを持つ(予定の)子どもへの対応について、ネットの危険性や持つ際の注意点を聞きたいとの意見が多く、役員が積極的に講師候補を探してくれた。

また、前年度に講演会準備時の保育や対象を小学生低学年に広げた保育についての要望があり、今年度も引き続き対応した。子どもを持つ保護者の活動にとって必要な対応であるので、今後も続けていきたいと考えている。

反省会では、企画から関わることができ、他校の方と話ができてよかった、和気あいあいとした雰囲気楽しかったなどのご意見をいただいた。

5校合同・中央公民館共催
家庭教育学級講演会

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び教師と連携し家庭教育について学ぶ。
- 期 間 平成29年1月14日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・120人
- 参加者 143人

回	月日(曜日)	内 容	講 師
1	1月14日(土)	インターネットトラブル防止講座～子どもたちをネットのトラブルや犯罪から守るために～	スクールネットワーク アドバイザー 赤木 聡

- 保 育 17人（内未就学児8人・小学生9人）
- 講師・事業内容
- ま と め

第五中学校、八石小学校、野寺小学校、片山小学校、栗原小学校の保護者と中央公民館共催の家庭教育学級は、4回の企画準備会を経て、本番の講演会を迎えた。

インターネットのトラブルや犯罪から子どもを守るために保護者がしておくこと・保護者がすべきことについて、ネットの仕組みや怖さを詳しく分かりやすく説明した上で、対策やルール作りについて教えてくれた。子どもにスマホを持たせるのならおもちゃやご褒美として与えるのではなく、保護者が買って貸してもらっているということ認識させること、また、さまざまな危険が潜むインターネットを使っているという危機意識を持ってトラブルに遭わないための設定（フィルタリングなど）をきちんと行い、親子で使い方のルールを決めることが大切であることが分かった。小学生の保護者は持たせるべきか悩んでいる方が多く、中学生の保護者は既に持たせているが不安



を持っていた方が多く、とても勉強になったとのこと
見が多かった。また、内容的に保護者だけでなく子
どもにも直接聞いてほしい内容だというご意見も多かった。

初心者のためのエクセル講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 エクセル初心者を対象にエクセルの基本的な機能を学ぶ。
- 期 間 平成28年9月6日（火）～9日（金）（計4回）
- 時 間 午前9時30分～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・15人
- 参加者 15人 参加延べ人数59人
- 講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか 亀山一夫
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	9月6日（火）	エクセルの基礎知識 ほか
2	9月7日（水）	データの入力 ほか
3	9月8日（木）	表の作成 ほか
4	9月9日（金）	グラフの作成 ほか

○ま と め

参加者に購入してもらったテキストに沿って、講師が分かりやすく丁寧な指導を行うだけでなく、パソボラいるかのスタッフ延べ16人が配置され、参加者一人ひとりの理解度に合わせた行き届いた対応をしてくれた。時間的にも内容的にも大変充実した講座であったが、ほぼ全員が全日程出席し、意欲的に課題に取り組み、積極的に質問した。

アンケートの結果、講師・スタッフの指導に対する評価が高く、参加者の満足度は非常に高かった。次回はエクセル中級講座や、ワード・パワーポイントなどのパソコン操作に関する講座の開催要望があった。



初級パソコン講座

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 パソコンを初めて使用する方のために、テキストに沿って操作方法を学ぶ。

○期 間 平成28年12月6日（火）～9日（金） （計4回）

○時 間 午前10時～正午 （計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・15人

○参加者 16人 参加延べ人数62人

○講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか 秋山 頌敏

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	12月6日（火）	写真をパソコンに取り込む
2	12月7日（水）	写真の編集（Windows フォト）
3	12月8日（木）	写真の編集（Windows フォトギャラリー）
4	12月9日（金）	自分流のアルバムの作成 ほか

○ま と め

今回はデジタル写真の加工編集をテーマに、講師の作成したテキストに沿って、写真データのパソコンへの取り込み方や写真の編集方法などを学んだ。講師が分かりやすく丁寧に指導するだけでなく、パソボラいるかのスタッフ延べ12人が配置され、参加者一人ひとりの理解度に合わせた行き届いた対応をしてくれた。参加者は意欲的に課題等に取り組み、最終日には撮った写真を加工編集して自分なりのアルバム（A4用紙1枚）を仕上げていた。

アンケートには「パソコンの世界が開けていくようで楽しい」「知らないことをたくさん教えてもらってありがたかった」などのご意見をいただき、好評だった。来年度もパソコンの使い方講座を開催してほしいとも多かった。



異文化交流セミナー～フィンランド～

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 新座市が姉妹都市を結ぶユヴァスキュラ市のあるフィンランドの文化について理解を深め、異文化交流を推進する。
- 期 間 平成29年2月18日(土)
- 時 間 午後1時30分～4時 (2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 37人
- 講師 元フィンランド大使館職員 阿川聰子
飯能市立図書館副館長 大橋はるか
民族楽器カンテレ演奏グループ トルスタイ
- 内 容 受付 13:00～
講演 13:30～15:10
休憩 5分
カンテレ演奏会 15:15～16:00
- ★曲目 コネヴィストの教会の鐘 カレワラの曲 ワルツ
タンゴXYZ 熊さんの冬眠 熊祭りのポルカ
桜 ふるさと 春の小川
- ★写真展示 四つ切り12枚をパネルに展示(大橋さん提供)
- ★本の展示 フィンランドに関する本を図書館から借りて展示
- ま と め

新座市が姉妹都市を結んでいるユヴァスキュラ市がある国であるが、オーロラ、ムーミン以外は遠い国という印象のフィンランドについて取り上げた。新聞で知った大橋さんから阿川聰子さんを紹介していただき、お二人でかけあいのように話をしていただいたのだが、その雰囲気がとても素晴らしく、楽しい講座となった。酒好き・シャイ・残業はしない・けち(もったいない精神)・人との距離感がちょうど良い・離婚率が50%(再婚する)というフィンランド人の特徴を踏まえて「知って得するフィンランド」という副題でお話ししてもらった。フィンランドは国土の3分の1が北極圏であり、73%が森林、10%が湖沼、消費税が24%と高いが18歳まで医療・学費は無料、サウナ発祥の地、日本から一番近いヨーロッパ、フィンランド語から衣食住に至るまで、情報満載の講座となった。その後、トルスタイのみなさんによる民族楽器カンテレの演奏会があり、オルゴールのような澄んだ音色に聞き入った。

子育て応援講座「ひよこ学級」

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 幼児期の子を持つ保護者が、子育てについて学ぶ機会を作り、仲間づくりの支援をする。

○期 間 平成28年9月14日(水)・21日(水)・28日(水)・10月5日(水)・10月12日(水)・10月19日(水) (計6回)

○時 間 原則として、午前10時～正午 (計12時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の2歳から3歳幼児と保護者・20組

○参加者 22組 参加延べ人数 96人

○保 育 22人

○参加費 1,000円(実習材料費)

○講師・事業内容

回	日 時	内 容	講 師
1	9月14日(水)	開講式・リトミックで親子遊び	まめちゃんず林篤子
2	9月21日(水)	絵本のある子育て	はとさん文庫服部雅子
3	9月28日(水)	布の絵本作り①	布の絵本作りサークル「ぬくりん」工藤裕子
4	10月5日(水)	布の絵本作り②	〃
5	10月12日(水)	どならない子育て練習法入門編	家庭児童相談員神藤園子・小林則子・滝田ユミ
6	10月19日(水)	家計の将来設計	武蔵野友の会

○ま と め

昨年4回の講座を今年度は6回で開講し、「ひよこ学級」という親しみやすい名称にした。講座の内容についてはそれぞれ満足度が高く、楽しく取り組み、今後役に立つという感想が多かった。参加者同士の交流を望む声が多いので次の講座にも盛り込みたい。

受講者集めは毎年苦勞するが、今年度は他の館から声かけしてもらったおかげで定員以上の申込みがあった。保育サポーターを増員して受け入れたが、子どもの体調不良などで欠席する人も多いのが難しい点である。定員に達しないという悩みは全館共通の悩みであり、少子化、働く母親の増加、他の子育て講座の増加など理由はいろいろ考えられる。アンケートから公民館の子育て講座開催の認知度が低いことがうかがえるので、来年度は8館共通のポスタ



〈布の絵本〉

一を作成するなど、広報の工夫をしていきたい。

ぬう

保育サポーター研修会

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 公民館保育について必要な知識を学び、保育サポーターの資質向上と保育技術のスキルアップを図る。なお、保育サポーターの担当となる社会教育指導員も参加してもらう。

○期 間 平成29年2月9日(木)・14日(火)・24日(金) 計4回

○時 間 午前9時30分～12時30分 救急法9時～12時30分(9時間)

○対象・定員 保育サポーター登録者

○参加者 24人 延べ人数74人

○講師・事業内容

回	月日(曜日)	内容	講師
1	2月9日(木)	保育と絵本	はとさん文庫 服部雅子
2	"	公民館保育 ～こんな時どうする～	十文字学園女子大学教授 山田陽子
3	2月14日(火)	普通救命講習会	新座消防署片山分署
4	2月24日(金)	"	"

○ま と め

公民館・コミセンでは保育付き講座を開催する場合、保育サポーターの協力が不可欠である。そこで年1回保育サポーター研修を実施し、資質向上を図っている。今年度は1日に二つの講座を入れ、全3日間行った。「保育と絵本」では、絵本の読み聞かせの大切さについてたくさんの絵本を紹介していただきながらお話ししてもらった。「公民館保育～こんな時どうする～」では、保育サポーターから事前に寄せ保育の中で起こるさま

ざまなトラブルへの対処法を学習した。普通救命講習は2日間設定し、都合のよい日に参加してもらった。毎年のことだがやはり忘れていくこともあるので大切である。なお、救急法の受講は必須となっており、受けられなかった場合は消防署の講習を受けてもらう。



癒やしの講座「紙バンドで作るかごバッグ」

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 荷造り用の紙バンドを編んでA4サイズの本が入る夏らしいかごバッグを作り、心豊かな癒やしの時間を過ごす。
- 期 間 平成28年7月15日(金) 7月22日(金) 計2回
- 時 間 午前10時～正午 (4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 18人
- 参加費 1800円(材料代)
- 講師 古木明美主宰「ぷるる工房」認定講師直井真紀(アシスタント1名)
- まとめ

癒しの講座として、荷造り用の紙バンドを編んで夏らしいかごバッグを作成した。こげ茶、赤系、白系の3種類から選んでもらった。かごのサイズが大きい上に扱えない材料のため、2日間とも時間がオーバーしてしまった。事前に講師に材料をカットしてもらうなどの工夫が必要だった。しかし、できあがった作品は、使いやすく実用的でとても好評だった。



CO₂削減 緑のカーテンで夏を涼しく

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 ゴーヤ等でグリーンカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。

○期 間 平成28年6月14日（火）

○時 間 午後2時～4時 （2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

○参加者 16人

○講師 環境まちづくり地域協議会 inにいざ代表 櫻 博子ほか5人

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	6月14日（火）	(1) 地球温暖化が及ぼす影響と環境対策について (2) グリーンカーテンを作る方法・質疑応答 (3) ゴーヤ料理のレシピ紹介

○ま と め

地球温暖化を抑えるためにCO₂を削減することが大切だが、一人ひとりが無理なく取り組める方法として、ゴーヤでグリーンカーテンを作ることを提案し、実際のゴーヤの苗を使って、土壌づくりから植栽、摘芯、摘み取りまで、具体的な育て方の説明があった。受講者から細かい質問が多く出されたが、一つ一つ丁寧に答えてくれた。また、ゴーヤのピクルスや佃煮のレシピが紹介され、試食もあった。

受講者からは、「本やネットで調べるより、実体験やコツが聞けてとても参考になった。講師の話が分かりやすく、面白かった。」「ゴーヤ料理をあまり知らないなので、助かった。」などの感想が寄せられ、大変好評であった。

最後に、受講者がグリーンカーテン作りを実践できるよう、ゴーヤの苗が1人2株ずつ配布された。

なお、本講座については、中央・栄・栗原・大和田・西新の5館で開催したが、広報・ポスター・ホームページ等による募集は、1つにまとめて行った。



（ゴーヤの育て方の講義の様子）

カメラ撮影基礎講座

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 写真に興味のあり高額なAF一眼レフでなくとも、コンパクトカメラ以上で、写真の楽しさを学びたい人、自信を持って見せたい人、メカニズムが難しいと思っている人など、気負うことなく気軽に写真が撮れるテクニックを写真家から学びます。

○期 間 平成29年9月3日、10日、17日、24日（土）（全4回）

○時 間 午前10時00分～正午、9月17日は午前9時～正午
（全9時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人 ○参加者 17人（延べ63人）

○講 師 写真家 福永 一興

○事業内容

月 日（曜日）	内 容
9月3日（土） 午前10時～正午	写真の持つ奥行きについて
9月10日（土） 午前10時～正午	宿題に対する講評
9月17日（土） 午前9時～正午	実習（新座市総合運動公園）
9月24日（土） 午前10時～正午	実習に対する講評

○ま と め

初心者から経験者まで幅広い受講生に対し、講師は、もっている技術、感性、性格や今回の講座に臨む考えなど、画一的な指導ではなく、受講生にそった細かい指導がされた。

今回は開催回数が4回で、作品の評価や更にステップアップするテクニックを中心に講義を実施したことから、開催回数をもう少し増やしてほしいという意見があった。また、撮影上絞りとシャッタースピードとの関係、ぼかし、望遠や広角レンズなど基礎的使用法について説明があればもっとよかったという意見があった。次回はその反省点をいかし、開催回数を増やし、撮影上必要な基礎的知識も含めて開催したいと感じた。

初心者のための日本刀鑑賞講座

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 初心者を対象に美術品としての日本刀の鑑賞方法を学ぶ。
- 期 間 平成28年10月23日～11月23日（毎週日曜日）（計4回）
- 時 間 午後2時～4時（計8時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤・在学の中学生以上・25人
- 参加者 22人 参加延べ人数63人
- 講師 刀剣研究連合会 会長 紙谷 治宏
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	10月23日（日）	刀の取扱いと鑑賞方法・日本刀に触ってみる
2	10月30日（日）	鑑賞の基礎・姿、地金、刃文を観る
3	11月 6日（日）	鑑賞会・平安から昭和の軍刀までを手にとって鑑賞
4	11月13日（日）	学習のまとめ・5振の刀の制作年代を推理する

○ま と め

伯耆安綱、備前兼光、長曾祢虎徹など、著名な刀を手にとって観ることができ、参加者からは好評であった。



人権を考える

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 当館利用者を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成28年10月8日(土)
- 時 間 午前10時～10時36分 (36分)
- 対象・定員 当館利用者・106人
- 参加者 65人
- 事業内容 人権資料のDVD「ここから歩き始める」の上映
- まとめ

中央公民館利用者懇談会時に、参加した利用者を対象に上映した。

DVDの内容は、高齢者を家族や地域でどのように支えていくか、また、高齢者自身の意欲や能力をどのように生かしていくかを考えるものです。

高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉える。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤と、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えさせるものでした。人権問題について、考えるよい機会となった。

押し花でつくるクリスマスランチョンマット

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 親子で協力して、押し花・押し葉でクリスマスらしい絵柄のランチョンマットを作る。

○期 間 平成28年12月24日(土)

○時 間 午前10時～正午 (計2時間)

○対象・定員 市内在住の小学生と保護者・15組

○参加者 大人13人・子ども21人 (計34人)

○参加費 300円(材料代)

○講師 妙音沢葉っぱの杜美術かん館長 石山 努

○事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	12月24日(土)	お話、制作

○ま と め

今回は親子で一緒に、講師が用意した押し花・押し葉や参加者が持ってきた家族の写真・絵の切り抜き・シールなどを使って、クリスマスパーティーに使うランチョンマットを作成した。参加者それぞれが自由な発想で材料を組み合わせながら、楽しく作成できたようだ。中でも押し花はラミネート加工する(熱を加える)ことで色鮮やかに仕上がるため、参加者たちは出来栄えに歓声をあげていた。時間が余った子はしおりの作成も行い、お土産ができたとても喜んでいました。参加者たちにとってクリスマスのよい一日となったようだ。

なお、幼児(4～5歳)の参加要望があり認めたが、4～5歳の子どもも十分に参加でき、楽しめるので、今後実施する際は対象を広げたほうがよいと思われる。



(素敵な作品ができました)



夏の夜の少しこわいお話し

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 日本に伝わる民話・怪談を朗読や話劇で楽しむ。

○期 間 平成28年8月7日(土)

○時 間 午後5時～6時30分 (1.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の親子・60人

○参加者 57人 (子どもの人数 22人)

○講師・事業内容

○まとめ

回	月 日 (曜日)	内 容	講 師
1	8月7日(土)	1 話劇 ・ ゆうれいの黒髪 ・ 波の音 ・ 血に染まる自画像 ・ ばけもの寺 ・ 幽霊滝 2 お楽しみ花火会	話劇みのり 代表 山田 順子

4回目を迎えたこの講座は、中央公民館夏の恒例となっている。話劇みのりさんが朝から会場設営、リハーサルと入念に準備し、力のこもった熱演に観客も引きつけられた。子ども向けの講座だが、本格的な怪談話で見応えのある舞台だった。申込みは66名だったが、当日の欠席が多く、子ども22人大人35人と昨年より減少した。時期が8月上旬になったことで、家庭の夏休みの予定と重なったり猛暑も影響したかと考えられる。

話劇の後、第二駐車場で花火をしたり、ヨーヨーを配るなどして夏の夕べを楽しんだ。

